

熊本市の概要

1 熊本市の位置・地勢

(東経130度42分・北緯32度48分)

熊本市は、九州の中央、熊本県のほぼ中央部に位置する。

有明海に面し、坪井川・白川・緑川の3水系の下流部に形成された熊本平野の大部分を占めている。また、阿蘇山と金峰山系との接合地帯にあり、数多くの山岳、丘陵、大地、平野等によって四方を囲まれている。古来、阿蘇からの伏流水による地下水が豊富なことや市内にいくつもの川が流れていることから、「緑潤う、森と水の都」と呼ばれている。

2 熊本市の歴史

熊本は古くから「火の国」と呼ばれてきた。大化の改新後、清冽な泉の湧き出る現在の出水町に国府が置かれ、ここを中心に形成された集落が熊本市の始まりである。

豊臣時代に入って、加藤清正の治世に建設された熊本城は、細川家に藩主が替わった後も、肥後熊本の政治・文化・経済の中心として城下町を形成し、大政奉還までの約200年間にわたり安定した治世の核となった。

西南戦争で熊本城を始め市街地の大部分が灰燼に帰したが、直ちに復興し、明治22年には近隣町村を合併し、市制の施行に伴い熊本市となり、九州における政治・経済の中心地として発展を続けた。

その後、昭和20年の空襲や28年の大水害などで市街地は大きな被害を受けたが、全市民の懸命の努力により困難を克服し、その後数次にわたる市域の拡大と都市機能の集積の結果、平成8年4月に人口65万を抱える中核市として指定を受け、平成20年10月の富合町、平成22年3月の城南町、植木町との合併をはじめとする市域の拡大等によって、今や面積389.53平方キロメートル、人口約74万人にまで成長した。平成24年4月には全国で20番目、九州で3番目の政令指定都市へと移行した。平成23年3月の九州新幹線全線開業とこの政令指定都市移行による相乗効果により、九州中央の交流拠点都市として着実に発展している。

平成28年4月14日及び16日に発生した熊本地震では、史上類を見ないM6.5の前震とM7.3の本震の同時期発生により、本市や近隣自治体をはじめ県内に大きな被害をもたらした。本市では、よりよいまちづくりを目指した創造的復興に取り組んでいる。

3 熊本市の教育史

熊本城を中心に城下町として発展してきた肥後熊本は、文教の府としても全国に秀でた存在であった。特に細川家8代重賢(1747年藩主となる)は、全国に先駆けて医療・教育機関として「再春館」を創設したほか、藩校「時習館」や薬草研究で有名な「蕃滋園」を設置し、藩政の充実のみならず「教学」も大いに振興した。

明治の変革期に時代が下ると、和魂洋才教育を実践した熊本洋学校、欧米流で進歩的な県立学校、藩校時代の教えを受け継いだ私立学校、更に第五高等学校や熊本医学校等々、相次いで教育機関が設置された。

現在もその流れをくむ学校・教育機関を中心に学制改革が行われ、第二次世界大戦後も度重なる教育改革を経て現在に至っている。



4

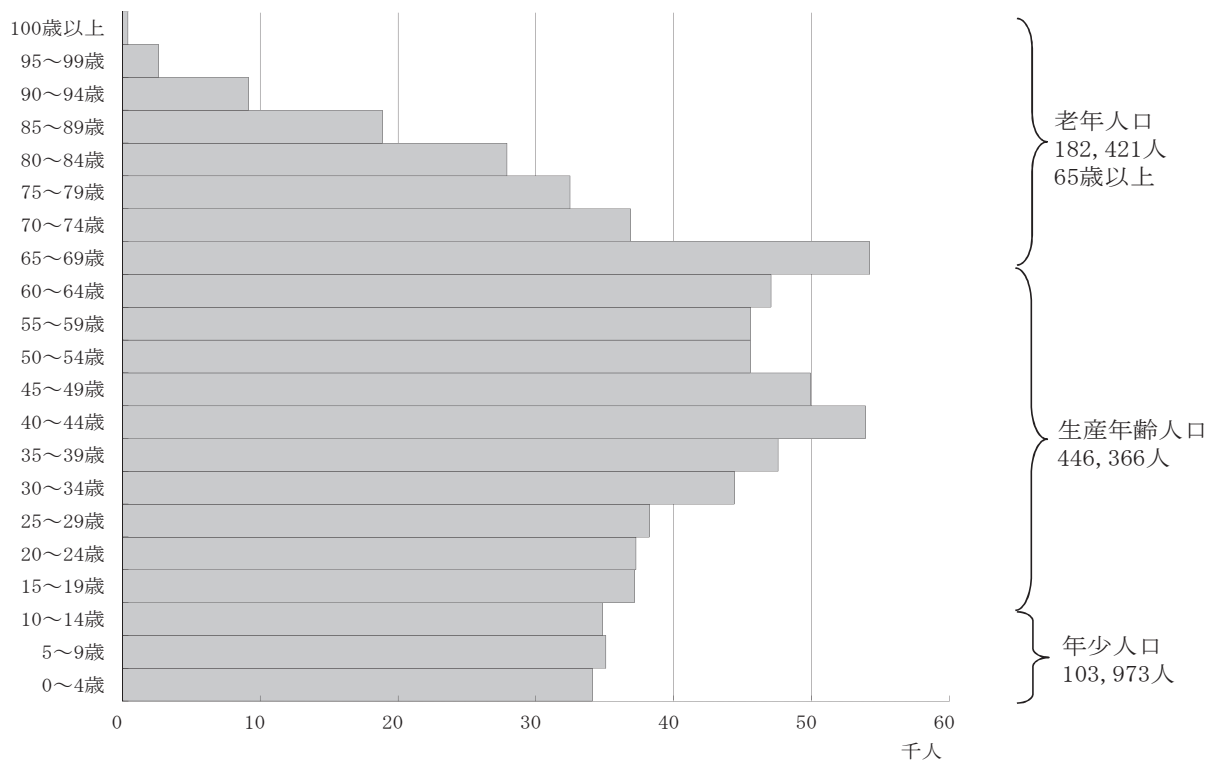
熊本市の人口

(1) 年次別人口及び世帯数

(各年10月1日現在)

年次		世帯数	人口			1世帯当たり人員	
			総数	男	女		
明治	22年	11,797	42,725	・ ・ ・	・ ・ ・	3.6	
大正	元年	12,736	66,488	35,938	30,550	5.2	
	8年	13,129	74,544	39,385	35,159	5.7	
昭和	元年	27,157	150,075	75,680	74,395	5.5	
	5年	30,284	167,566	83,218	84,348	5.5	
	10年	38,336	214,270	105,480	108,790	5.6	
	15年	39,813	243,574	116,838	126,736	6.1	川尻町・日吉村・力合村合併
	20年	37,981	180,643	84,935	95,708	4.8	
	25年	59,853	267,506	128,067	139,439	4.5	(国勢調査)
	30年	72,008	332,493	159,501	172,992	4.6	松尾村合併
	35年	90,949	373,922	178,031	195,891	4.1	(国勢調査)
	40年	107,634	407,052	192,538	214,514	3.8	(国勢調査)
	45年	130,608	449,254	211,322	237,932	3.4	(国勢調査) 含旧託麻村
	50年	153,540	488,166	231,188	256,978	3.2	(国勢調査)
	55年	180,239	525,662	251,011	274,651	2.9	(国勢調査)
	60年	194,486	555,719	265,037	290,682	2.9	(国勢調査)
平成	2年	224,070	626,727	297,835	328,892	2.8	(国勢調査) 含旧飽託4町
	7年	246,700	650,341	310,118	340,223	2.6	(国勢調査)
	12年	260,672	662,012	314,455	347,557	2.5	(国勢調査)
	17年	268,988	669,603	316,048	353,555	2.5	(国勢調査)
	18年	273,447	670,097	316,009	354,088	2.5	(推計人口)
	19年	275,929	670,179	315,885	354,294	2.4	(推計人口)
	20年	280,941	679,013	319,806	359,207	2.4	(推計人口) 含富合町
	21年	283,408	679,618	319,703	359,915	2.4	(推計人口)
	22年	302,413	734,474	344,291	390,183	2.4	(国勢調査) 含城南町、植木町
	23年	305,929	736,010	345,013	390,997	2.4	(推計人口)
	24年	308,985	737,689	345,601	392,088	2.4	(推計人口)
	25年	312,527	739,541	346,700	392,841	2.4	(推計人口)
	26年	315,318	740,204	347,020	393,184	2.3	(推計人口)
	27年	315,456	740,822	348,470	392,352	2.3	(国勢調査)
	28年	333,356	733,453	345,568	387,885	2.2	(推計人口)

(2) 年齢別人口構成(平成29年5月1日現在)



※ 人口は住民基本台帳登録者数

5

熊本市の教育施設

